



|   |   |  |  |  |   |  |  |  |   |    |
|---|---|--|--|--|---|--|--|--|---|----|
| 2<br>学期   | <p><b>単元「無彩色」</b><br/>【知識及び技能】<br/>常用漢字を文や文章の中で活用する。<br/>【思考力、判断力、表現力等】<br/>内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。<br/>【学びに向かう力、人間性等】<br/>ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。</p>                     | <p>&lt;知識及び技能&gt;<br/>・言葉の特徴や使い方<br/>・情報の扱い方<br/>&lt;思考・判断・表現&gt;<br/>・書くこと<br/>・読むこと</p>            |  |  |   | <p>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。<br/>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。<br/>・例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明しようとしている。</p>     |  |  |   | 8  |
|   | <p><b>単元「鏡」</b><br/>【知識及び技能】<br/>比喩や言い換えなどの修辞を理解する。<br/>【思考力、判断力、表現力等】<br/>非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解くなどして、自分の意見や考えを論述する。<br/>【学びに向かう力、人間性等】<br/>自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。</p> | <p>&lt;知識及び技能&gt;<br/>・言葉の特徴や使い方<br/>・情報の扱い方<br/>&lt;思考・判断・表現&gt;<br/>・書くこと<br/>○一人1台端末の活用し論述する。</p> |  |  |   | <p>・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。<br/>・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、情報の分量や重要度を考えて、文章の構成や展開を工夫している。<br/>・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。</p> |  |  |   | 12 |
|   | 定期考査  |  |  |  |   |  |  |  |   | 1  |
| 3<br>学期   | <p><b>単元「論理分析」</b><br/>【知識及び技能】<br/>常用漢字を文や文章の中で活用する。<br/>【思考力、判断力、表現力等】<br/>内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。<br/>【学びに向かう力、人間性等】<br/>情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。</p>                   | <p>&lt;知識及び技能&gt;<br/>・言葉の特徴や使い方<br/>・情報の扱い方<br/>&lt;思考・判断・表現&gt;<br/>・書くこと<br/>・読むこと</p>            |  |  |   | <p>・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。<br/>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。<br/>・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。</p>      |  |  |   | 8  |
|   | 定期考査  |  |  |  |   |  |  |  |   | 1  |
|   | <p><b>単元「『私作り』とプライバシー」</b><br/>【知識及び技能】<br/>常用漢字を文や文章の中で活用する。<br/>【思考力、判断力、表現力等】<br/>内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。<br/>【学びに向かう力、人間性等】<br/>具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。</p>        | <p>&lt;知識及び技能&gt;<br/>・言葉の特徴や使い方<br/>・情報の扱い方<br/>&lt;思考・判断・表現&gt;<br/>・書くこと<br/>・読むこと</p>            |  |  |   | <p>・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。<br/>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。<br/>・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。</p>      |  |  |   | 5  |
| <p><b>単元「主張と反論」</b><br/>【知識及び技能】<br/>自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。<br/>【思考力、判断力、表現力等】<br/>相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。<br/>【学びに向かう力、人間性等】<br/>相手により伝わりやすい表現方法を理解する。</p> | <p>&lt;知識及び技能&gt;<br/>・言葉の特徴や使い方<br/>&lt;思考・判断・表現&gt;<br/>・話すこと<br/>・聞くこと</p>   |  |  |  | <p>・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。<br/>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。<br/>・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。</p> |  |  |  | 6 |    |
| 定期考査  |   |  |  |  |   |  |  |  | 1 |    |
|   |   |  |  |  |   |  |  |  |   | 合計 |
|   |   |  |  |  |   |  |  |  |   | 70 |

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位  
 対象学年組：第1学年 A組～B組  
 教科担当者：（AB組：竹内 田鹿 須賀）（組：）（組：）（組：）（組：）  
 使用教科書：（高等学校 言語文化（第一学習社））

教科 国語 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で正確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚や態度を養う。

科目 言語文化 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で正確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|--|--|
| 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容  | 領域  |     | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|--|-----|-----|---|---|---|---|----------|
|  |  | 話・聞 | 書・読 |   |   |   |   |          |
| 単元「児のそら寝」<br>【知識及び技能】<br>語句の量を増やし、語彙を豊かにし、主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。  | <知識及び技能><br>・言葉の特徴や使い方<br>・情報の扱い方<br><思考・判断・表現><br>・読むこと |     |     | ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。<br>・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。<br>・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。             |   |   |   | 4        |
| 単元「絵仏師良秀」<br>【知識及び技能】<br>語句の量を増やし、語彙を豊かにし、主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。また説話から良秀の特異な言動を読み取り、内容や展開を的確に捉える。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。                                      | <知識及び技能><br>・言葉の特徴や使い方<br>・情報の扱い方<br><思考・判断・表現><br>・読むこと |     |     | ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。<br>・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。<br>・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。          |   |   |   | 6        |
| 定期考査   |  |     |     |   |   |   |   | 1        |
| 単元「なよ竹のかぐや姫」<br>【知識及び技能】<br>語句の量を増やし、語彙を豊かにし、古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。<br>また伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 | <知識及び技能><br>・言葉の特徴や使い方<br>・情報の扱い方<br><思考・判断・表現><br>・読むこと |     |     | ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。<br>・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。<br>・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 |   |   |   | 5        |

|             |  |   |  |  |  |   |   |   |    |
|-------------|--|---|--|--|--|---|---|---|----|
| 1<br>学<br>期 | <p>単元『伊勢物語』『芥川』</p> <p>【知識及び技能】<br/>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。また「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を、歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。</p>                    | <p>&lt;知識及び技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の特徴や使い方</li> <li>・情報の扱い方</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読むこと</li> </ul> |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</li> <li>・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。</li> <li>・歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 10 |
|             | 定期考査   |   |  |  |  |   | ○ | ○ | 1  |
| 2<br>学<br>期 | <p>単元『枕草子』</p> <p>【知識及び技能】<br/>作品の歴史的・文化的背景を理解し、主として助動詞について、文語のきまりを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの方や考え方を理解する。また自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。</p>               | <p>&lt;知識及び技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の特徴や使い方</li> <li>・情報の扱い方</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読むこと</li> </ul> |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</li> <li>・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。</li> </ul>  | ○ |   |   | 10 |
|             | <p>単元『土佐日記』『門出』</p> <p>【知識及び技能】<br/>語句の量を増やし、語彙を豊かにし、主として助詞について文語のきまりを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>我が国最初の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。また女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。</p>        | <p>&lt;知識及び技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の特徴や使い方</li> <li>・情報の扱い方</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読むこと</li> </ul> |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</li> <li>・日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの方や考え方を捉え、内容を解釈している。</li> <li>・学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。</li> </ul>   | ○ |   |   | 7  |
|             | 定期考査   |   |  |  |  |   |   | ○ | ○  |
|             | <p>単元 漢文の学習 訓読に親しむ</p> <p>【知識及び技能】<br/>我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。<br/>・漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。<br/>・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。</p> | <p>&lt;知識及び技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の特徴や使い方</li> <li>・情報の扱い方</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読むこと</li> </ul> |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得している。</li> <li>・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。</li> </ul>  | ○ |   |   | 6  |

|         |  |   |   |   |   |   |    |    |
|---------|--|---|---|---|---|---|----|----|
| 2<br>学期 | <p>単元 『故事成語』 「蛇足」</p> <p>【知識及び技能】<br/>作品の歴史的・文化的背景を理解する<br/>また故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。<br/>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。</p>                              | <p>&lt;知識及び技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の特徴や使い方</li> <li>・情報の扱い方</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読むこと</li> </ul> | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している</li> <li>・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。</li> </ul>                                   | ○ | ○ | ○  | 5  |
|         | 定期考査   |   |   |   |   | ○ | ○  | 1  |
| 3<br>学期 | <p>単元 『徒然草』 「ある人、弓を射ることを習ふに」</p> <p>【知識及び技能】<br/>語句の量を増やし、語彙を豊かにし作品の歴史的・文化的背景を理解する。<br/>また主として敬語について文語のきまりを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。<br/>さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>随筆の内容・構成などを粘り強く把握し、学習課題に沿って説明しようとしている。</p> | <p>&lt;知識及び技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の特徴や使い方</li> <li>・情報の扱い方</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読むこと</li> </ul> | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</li> <li>・『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解いている。</li> <li>・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。</li> </ul>       | ○ | ○ | ○  | 6  |
|         | <p>単元 『平家物語』 「木曾の最後」</p> <p>【知識及び技能】<br/>語句の量を増やし、語彙を豊かにし、「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。<br/>また軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。</p>                           | <p>&lt;知識及び技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の特徴や使い方</li> <li>・情報の扱い方</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読むこと</li> </ul> | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている</li> <li>・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している</li> <li>・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○  | 6  |
| 定期考査    |  |   |   |   | ○ | ○ | 1  |    |
|         |  |   |   |   |   |   | 合計 | 70 |

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ B 組

教科担当者： 発展： 大井、 標準： 久保、 基礎： 西山

使用教科書：（ 数学 I Standard 東京書籍 ）

使用教材：（ 数学 I WRITE ）

教科の目標：

【知識・技能等】 基本的な概念・原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

科目 数学 I の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|---|--|--|
| 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。 | 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容  | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|--|--|---|---|---|----------|
| <p>1章 数と式</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができるようにする。</li> <li>2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をできるようにする。</li> <li>不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、1次不等式の解を求めることができるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題を解決する際に、既に学習した計算の方法関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする力を養う。</li> <li>1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができるようにする。</li> <li>日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用する力を養う。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。</li> <li>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>1節 式の計算</li> <li>1 展開</li> <li>2 因数分解</li> <li>2節 実数</li> <li>1 実数</li> <li>2 根号を含む式の計算</li> <li>3節 1次不等式</li> <li>1 不等式と1次不等式</li> <li>2 不等式の応用</li> <li>教材</li> <li>教科書、問題集</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数を実数まで拡張する意義を理解するとともに、簡単な無理数の計算をすることができる。</li> <li>2次の乗法公式や因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。</li> <li>不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、1次不等式の解を求めることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題を解決する際に、既に学習した計算の方法関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。</li> <li>1次方程式を解く方法や不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。</li> <li>日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事象を数と式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。</li> <li>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 15       |
| 定期考査   |  |  | ○ | ○ |   | 1        |
| <p>2章 集合と論証</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集合と命題に関する基本的な概念を理解できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事象を集合と論証の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする創造性の基礎を養う。</li> <li>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項</li> <li>1節 集合</li> <li>1 集合</li> <li>2節 命題と論証</li> <li>1 命題と条件</li> <li>2 論証</li> <li>教科書、問題集</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>   | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集合と命題に関する基本的な概念を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集合の考えを用いて命題を論理的に考察し、簡単な命題の証明をすることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事象を集合と論証の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。</li> <li>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>  | ○ | ○ | ○ | 12       |

|             |  |  |   |   |   |   |    |
|-------------|--|--|---|---|---|---|----|
| 1<br>学<br>期 | <p>3章 2次関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解できるようにする。</li> <li>・2次関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。</li> <li>・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解することができるようにする。</li> <li>・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができるようにする。</li> <li>・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする創造性の基礎を養う。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。</li> </ul> | <p>・指導事項</p> <p>1節 2次関数とそのグラフ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2次関数</li> <li>2 2次関数の最大・最小</li> <li>3 2次関数の決定</li> </ol> <p>・教科書、問題集</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>      | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。</li> <li>・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。</li> <li>・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。</li> <li>・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 10 |
|             | 定期考査   |  |   |   | ○ | ○ |    |
| 2<br>学<br>期 | <p>3章 2次関数</p> <p>1学期のものと同じ</p>  | <p>2節 2次方程式と2次不等式</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2次関数のグラフとx軸の共有点</li> <li>2 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数</li> <li>3 2次不等式</li> </ol> <p>・教科書、問題集</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。</li> <li>・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。</li> <li>・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。</li> <li>・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 20 |
|             | 定期考査   |  |   |   | ○ | ○ |    |

|             |  |   |   |   |   |   |     |
|-------------|--|---|---|---|---|---|-----|
| 2<br>学<br>期 | 4章 図形と計量<br>【知識及び技能】<br>・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解できるようにする。<br>・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解できるようにする。<br>・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理を関連付けて理解できるようにする。<br>・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができるようにする。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができるようにする。<br>・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることできるようにする。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。<br>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。                                   | 1節 鋭角の三角比<br>1 直角三角形と三角比<br>2 三角比の相互関係<br>2節 三角比の拡張<br>1 三角比と座標<br>2 三角比の性質<br>3節 三角形への応用<br>1 正弦定理・余弦定理・面積の公式<br>2 空間図形の計量<br><br>・教科書、問題集<br><br>・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】<br>・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。<br>・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解している。<br>・鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。<br>・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理を関連付けて理解している。<br>・正弦定理や余弦定理などを用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、定理や公式として導くことができる。<br>・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることできる。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・事象を図形と計量の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。<br>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。  | ○ | ○ | ○ | 25  |
|             | 定期考査   |   |   | ○ | ○ |   | 1   |
| 3<br>学<br>期 | 5章 データの分析<br>【知識及び技能】<br>・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解できるようにする。<br>・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができるようにする。<br>・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解できるようにする。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができるようにする。<br>・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法hなどを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができるようにする。<br>・不確実な事象の起こりやすさに着目し、首長の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができるようにする。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする創造性の基礎を養う。<br>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。 | 1節 データの分析<br>1 データの散らばり<br>2 データの相関<br>2節 データの分析の応用<br>1 データの分析を利用した問題解決<br>3節 仮説検定の考え方<br>1 仮説検定の考え方<br><br>・教科書、問題集<br><br>・一人1台端末の活用 等                       | 【知識・技能】<br>・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。<br>・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。<br>・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。<br><br>【思考・判断・表現】<br>・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。<br>・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法hなどを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。<br>・不確実な事象の起こりやすさに着目し、首長の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。<br><br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・事象をデータの分析の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。<br>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 15  |
|             | 定期考査   |   |   | ○ | ○ |   | 1   |
|             | 三角比の総合演習   | 数学Ⅱの三角関数への拡張を見据えた総合演習   | 4章図形と計量に準ずる。  | ○ | ○ | ○ | 3   |
|             |  |   |   |   |   |   | 合計  |
|             |  |   |   |   |   |   | 105 |

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位  
 対象学年組： 第1学年 A組～B組  
 教科担当者：（発展：小安永）（標準：小野）（基礎：横戸）（組： ）（組： ）（組： ）  
 使用教科書：（LANDMARK Fit English CommunicationⅠ（啓林館））

教科 外国語 の目標：  
 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝えたりすることができる力を養う。  
 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|--|--|--|
| 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。<br>外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。 | 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 | 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 領域 |   |                  |                  |   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |
|--|---|----|---|------------------|------------------|---|---|---|---|---|------------------|
|  |   | 聞  | 読 | 話<br>〔<br>や<br>〕 | 話<br>〔<br>発<br>〕 | 書 |   |   |   |   |                  |
| A 単元<br>第1章 (Preparatory Lesson、Lesson1, Lesson2)<br>【知識及び技能】<br>右のテーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。<br>外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>右のテーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりすることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>右のテーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。 | ・指導事項<br>1) 〈自己紹介〉自己紹介をペアやグループで行う。<br>2) 新生活での新たな目標の発見方<br>3) はるかなるカレールの旅<br>・教材教科書 | ○  | ○ | ○                | ○                | ○ | 【知識及び技能】<br>各テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。<br>外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>左のテーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>左のテーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 15               |
|  |   | ○  | ○ | ○                | ○                | ○ |   | ○ | ○ | 1 |                  |
| B 単元<br>第2章 (Lesson3, SDGs01, Lesson4)<br>【知識及び技能】<br>右のテーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。<br>外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>右のテーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりすることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>右のテーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。            | ・指導事項<br>1) 世界の制服事情<br>2) 世界の真実QUIZ<br>3) 屋久島エコツアーを体験<br>・教材教科書                     | ○  | ○ | ○                | ○                | ○ | 【知識及び技能】<br>各テーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。<br>外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>右のテーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>右のテーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 20               |
|  |   | ○  | ○ | ○                | ○                | ○ |   | ○ | ○ | 1 |                  |
| 定期考査   |   |    |   |                  |                  |   |   | ○ | ○ |   | 1                |

|             |   |  |   |   |   |   |   |   |   |    |     |
|-------------|---|--|---|---|---|---|---|---|---|----|-----|
| 2<br>学<br>期 | <p>C 単元<br/>第3章 (Lesson5, Lesson6, Supplementary Lesson)</p> <p>【知識及び技能】<br/>右のテーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。<br/>外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>右のテーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>右のテーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。</p> | <p>・指導事項<br/>1) 病院で働くファシリティードッグ、ペイリーについて<br/>2) 世界の国々の言葉を用いないコミュニケーション<br/>3) パラグラフを書いてみよう！</p> <p>・教材<br/>教科書</p> | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 25 |     |
|             | 定期考査  |  |   |   |   |   |   |   |   | ○  | ○   |
| 3<br>学<br>期 | <p>D 単元<br/>第4章 (SDGs02, Lesson7, Lesson8)</p> <p>【知識及び技能】<br/>右のテーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。<br/>外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>右のテーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>右のテーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。</p>               | <p>・指導事項<br/>1) SDGs Goals to Achieve<br/>2) パナが世界に向けて発信したメッセージとは<br/>3) 社会起業家の思いと挑戦</p> <p>・教材<br/>教科書</p>        | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 20  |
|             | 定期考査  |  |   |   |   |   |   |   |   | ○  | ○   |
| 3<br>学<br>期 | <p>E 単元<br/>第5章 (SDGs03, Optional Lesson 1, 2)</p> <p>【知識及び技能】<br/>右のテーマ別の指導事項について、外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。<br/>外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>右のテーマ別の指導事項について、場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>右のテーマ別の指導事項について、他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。</p>           | <p>・指導事項<br/>1) What You Can Do with SDGs<br/>2) エレベーターで宇宙へ？<br/>3) トルコ軍艦エルトゥールル号の恩返し</p> <p>・教材<br/>教科書</p>       | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○  | 20  |
|             | 定期考査  |  |   |   |   |   |   |   |   | ○  | ○   |
|             |   |  |   |   |   |   |   |   |   | 合計 | 105 |

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科：外国語 科目：論理・表現 I 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ B組

教科担当者：（発展：小野）（標準：小安永）（基礎：大橋）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（EARTHRISE English Logic and Expression I Standard（数研出版））

- 教科 外国語 の目標：
- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝えあったりすることができる力を養う。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現 I の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】                                   |
|---|---|--|
| 話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの三つの領域について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付けている。 | 話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの三つの領域について、論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとしている。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容  | 領域   |                  |                  | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |
|-------------|--|--|------------------|------------------|------|---|---|---|------------------|
|             |  | 聞<br>読   | 話<br>（<br>や<br>） | 話<br>（<br>発<br>） |      |   |   |   |                  |
| 1<br>学<br>期 | A 単元<br>第1章（はじめに、Lesson1-<br>Lesson3）<br>【知識及び技能】<br>右の指導事項について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>右の指導事項について、論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>右の指導事項について、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとしている。 | ・指導事項<br>英文の基本構造〈S+V...〉/各品詞<br>〈S+V+C〉/〈S+V+O〉/<br>〈S+V+O+O〉/〈S+V+O+C〉<br>過去形/現在進行形/will/be<br>going to do/(未来を表す)現在進行形<br>・教材<br>教科書、補助教材（桐原書店<br>FACTBOOK）  |                  |                  |      | ○ | ○ | ○ | 13               |
|             | 定期考査   |  |                  |                  |      | ○ | ○ |   | 1                |
|             | B 単元<br>第2章（Lesson4-Lesson6）<br>【知識及び技能】<br>右の指導事項について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>右の指導事項について、論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>右の指導事項について、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとしている。          | ・指導事項<br>can/may/must/have to<br>would/could/may/〈should have+<br>過去分詞〉/〈must have+過去分詞〉<br>〈be動詞+過去分詞〉/be made of<br>～/be interested in ～/be<br>pleased<br>・教材<br>教科書、補助教材（桐原書店<br>FACTBOOK）                    |                  |                  |      | ○ | ○ | ○ | 13               |
| 定期考査        |  |  |                  |                  | ○    | ○ |   | 1 |                  |
| 2<br>学<br>期 | C 単元<br>第3章（Lesson7-Lesson9）<br>【知識及び技能】<br>右の指導事項について、英語の特徴やきまりを理解すると共にコミュニケーションを行う場面、状況などに応じて活用できる技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>右の指導事項について、論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>右の指導事項について、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語を用いて話したり書こうとしている。          | ・指導事項<br>不定詞の名詞的用法/形容詞的用法/副詞的用法/<br>It is ... to do ～<br>〈want+0(人)+to do〉/〈see+<br>0(人)+do〉/〈let+0(人)+do〉/<br>〈make+0(人)+do〉<br>動名詞（主語になるもの/目的語になるもの/前置詞の目的語になるもの）/動名詞の否定形<br>・教材<br>教科書、補助教材（桐原書店<br>FACTBOOK） |                  |                  |      | ○ | ○ | ○ | 13               |
|             | 定期考査   |  |                  |                  |      | ○ | ○ |   | 1                |



高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ B組

教科担当者：（A組：田中遼 （B組：田中遼

使用教科書：（ 高校生物基礎〔実教出版〕 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】           | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|--------------------------|---|
| 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 | 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 | 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|---|---|---|---|---|----------|
| <p>1章 生物の多様性と共通性</p> <p>【知識及び技能】<br/>様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解できるようにする。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解できるようにするとともに、生物の多様性と共通性を科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>              | <p>1節 生物の多様性と共通性</p> <p>1. 生物の多様性・共通性<br/>観察実験 ささまざまな生物の観察</p> <p>2. 生物の共通性と進化</p> <p>3. 細胞</p> <p>・教材<br/>教科書、授業プリント、実験・実習プリント、問題集</p> <p>・一人1 台端末の活用 等<br/>単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、スケッチ記録の共有 (Teams)</p>  | <p>【知識・技能】<br/>・様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解している。<br/>・生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解している。<br/>・生物の多様性と共通性を科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>・生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>・生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>      | ○ | ○ | ○ | 12       |
| 定期考査   |   |   | ○ | ○ |   | 1        |
| <p>1 学期</p> <p>1編2章 生物とエネルギー</p> <p>【知識及び技能】<br/>生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解できるようにする。また、光合成と呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解できるようにするとともに、生物の多様性と共通性を科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>生物とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>生物とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> | <p>・指導事項</p> <p>1節 生体とATP<br/>A：生命活動とエネルギー<br/>B：ATPの構造<br/>C：代謝</p> <p>2節 酵素のはたらき<br/>実習3：酵素のはたらき<br/>A：酵素</p> <p>3節 呼吸と光合成<br/>A：呼吸<br/>B：光合成<br/>章末まとめ</p> <p>・教材<br/>教科書、授業プリント、実験・実習プリント、問題集</p> <p>・一人1 台端末の活用 等<br/>単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、酵素実験の記録の共有 (Teams)</p> | <p>【知識及び技能】<br/>・生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解している。<br/>・光合成と呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解している。<br/>・生物の多様性と共通性を科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>・生物とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>・生物とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 8        |
| 定期考査   |   |   | ○ | ○ |   | 1        |

|  |  |  |   |   |   |   |
|--|--|--|---|---|---|---|
| <p>4編1章 植生と遷移</p> <p><b>【知識及び技能】</b><br/>植生の遷移に関する資料に基づいて、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解することができるようにするとともに、植生と遷移について科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けることができるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br/>植生と遷移について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現することができるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br/>植生と遷移に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>   | <p>・指導事項<br/>3節 遷移とバイオーム<br/>実習12 森林・草原・砂漠と遷移の関係<br/>A: 遷移とバイオーム<br/>B: 日本のバイオーム<br/>章末まとめ</p> <p>・教材<br/>教科書、授業プリント、実験・実習プリント、問題集</p> <p>・一人1台端末の活用等<br/>単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、三原山の植生観察の記録の共有 (Teams)</p>   | <p><b>【知識及び技能】</b><br/>・植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解している。<br/>・植生の遷移をバイオームと関連付けて理解している。<br/>・植生と遷移について科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br/>・植生と遷移について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現している。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br/>・植生と遷移に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>                                      | ○ | ○ | ○ | 7 |
| <p>4編2章 生態系と生物の多様性</p> <p><b>【知識及び技能】</b><br/>生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性、生態系のバランスと人為的攪乱の関連性について理解することができるようにするとともに、生態系と生物の多様性について科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けることができるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br/>生態系と生物の多様性について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現することができるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br/>生態系と生物の多様性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>              | <p>・指導事項<br/>1節 生態系における生物の多様性<br/>実習13: 地表を歩きまわる生物の観察<br/>A: 食物網と生態ピラミッド<br/>B: 生物の多様性と環境<br/>2節 生態系における生物間の関係<br/>実習14: 生態系から特定の生物を除去したときの影響<br/>A: 生物間の関係性<br/>B: 生物種の絶滅<br/>3節 生態系と人為的攪乱<br/>実習15: 生活排水の流入による河川への影響<br/>A: 人為的攪乱<br/>B: 生態系のバランス<br/>4節 生態系の保全<br/>実習16: 高速道路の建設に伴う環境アセスメント<br/>A: 環境アセスメント<br/>B: 生態系サービス<br/>C: 外来生物が生態系に与える影響<br/>D: ヒトの生態系の共存<br/>章末まとめ</p> <p>・教材<br/>教科書、授業プリント、実験・実習プリント、問題集</p> <p>・一人1台端末の活用等<br/>単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、土壌動物観察の記録の共有 (Teams)</p> | <p><b>【知識及び技能】</b><br/>・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性、生態系のバランスと人為的攪乱の関連性について理解している。<br/>・生態系と生物の多様性について科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br/>・生態系と生物の多様性について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現している。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br/>生態系と生物の多様性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>                   | ○ | ○ | ○ | 9 |
| <p>定期考査</p>  |  |  | ○ | ○ |   | 1 |
| <p>2編1章 遺伝情報とDNA</p> <p><b>【知識及び技能】</b><br/>DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解できるようにするとともに、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解できるようにする。また、遺伝情報とDNAについて科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けることができるようにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br/>遺伝情報とDNAについて、観察、実験などを通して探究し、DNAの特徴や、塩基の相補性とDNAの複製の関係を見いだして表現することができるようにする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br/>遺伝情報とDNAに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> | <p>・指導事項<br/>1節 遺伝情報とDNA<br/>A: 遺伝情報と形質<br/>B: DNAと染色体<br/>C: ゲノム<br/>2節 DNAの構造<br/>実習4: DNA模型の作製<br/>A: 塩基の相補性<br/>B: DNAの構造<br/>C: 塩基の並び方<br/>3節 DNAの複製と分配<br/>実習5: DNAが2倍になるしくみ<br/>A: DNAが複製されるしくみ<br/>B: 細胞分裂とDNA<br/>章末問題</p> <p>・教材<br/>教科書、授業プリント、実験・実習プリント、問題集</p> <p>・一人1台端末の活用等<br/>単元の振り返りの入力・提出 (Forms)、DNA抽出実験の記録の共有 (Teams)</p>   | <p><b>【知識及び技能】</b><br/>・DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解している。<br/>・塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解している。<br/>・遺伝情報とDNAについて科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b><br/>遺伝情報とDNAについて、観察、実験などを通して探究し、DNAの特徴や、塩基の相補性とDNAの複製の関係を見いだして表現している。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br/>遺伝情報とDNAに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |



高等学校 令和6年度 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位  
 対象学年組：第1学年 A組～B組  
 教科担当者：(A組：谷口) (B組：谷口) (組：) (組：) (組：) (組：)  
 使用教科書：(数研出版 高等学校公共)

教科 公民 の目標：  
 【知識及び技能】 倫理・政治・経済などに関わる現代の諸課題を理解し、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめている。  
 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、多面的に考察し、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論している。  
 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|---|---|
| ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について、理解する。<br>・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | ・現実社会の諸課題の解決に向けて、手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察する。<br>・公正に判断する力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想した内容を議論する力を養う。 | ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。<br>・現代社会に生きる人間としての在り方や公共的な空間に生き国民主権を担う公民として自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合う大切さについての自覚を深める。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|---|---|---|---|---|----------|
| A 単元<br>巻頭特集 公共的な空間をつくる私たち<br>第1章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方<br>第2章 公共的な空間における基本原則<br>～平等権・自由権<br>【知識及び技能】<br>青年期は自立や自立を図る重要な時期であるということを理解する。<br>また、社会には様々な背景をもっている人々から成り立っていることを理解する。そうした考えや人々によって、人間の尊厳や平等、法の支配など公共的空間における基本的原理について理解できる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>社会に参画する自立した主体とは、孤独して生きるのではなく、様々な集団として生き、公共的な空間を作る存在であるということについて多面的・多角的に考察する。<br>1 学期<br>倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現すること。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>青年期の課題を把握しながら社会の一員として様々な社会に属していることを認識し、民主政治や日本国憲法にはどのように様々な人々と関わりの中で利害を調整していくのかを主体的に研究する。 | ・指導事項<br>巻頭特集<br>1 大人ってどんな人？<br>2 お互いを理解し尊重するために<br>3 誰もが生きやすい社会で<br>第1章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方<br>第2章 公共的な日本社会の原理<br>平等権・自由権<br>・教材<br>教科書<br>ワークシート<br>パワーポイント揭示資料<br>・一人1 台端末の活用 等 | 【知識・技能】<br>青年期は自立や自律をはかる重要な時期であるということを理解する。<br>人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配など公共的な空間における基本的原理について理解できている。<br>日本国憲法の基本原則や保障されている権利が理解できる。<br>【思考・判断・表現】<br>自己形成の課題について考察することができる。<br>公共的な空間における人間としてのあり方生き方を考察するための選択・判断の手がかりが考察できている。<br>日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、公共的な空間における基本的原理との関連を考察することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>自らを成長させる人間としてのあり方生き方とはどのようなものなのか主体的に追究できている。<br>民主政治が自らの生活と関わっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方について考えを深めている。<br>日本国憲法が保障されている権利が理解でき、自らの生き方と権利を結びつけることができる。 | ○ | ○ | ○ | 13       |
| 定期考査   |   |   | ○ | ○ |   | 1        |

|         |   |  |  |   |   |   |    |
|---------|---|--|--|---|---|---|----|
| 1<br>学期 | <p>B 単元<br/>第2章 第2節 日本社会の基本<br/>原理<br/>社会権・参政権・請求権～<br/>第3章 ルールをつくり守る私た<br/>ち<br/>～契約と消費者の権利</p> <p>【知識及び技能】<br/>人間の尊厳と平等、個人の尊重、<br/>民主主義、法の支配、自由・権利<br/>と責任・義務など、公共的な空間<br/>における基本的原理について理解<br/>する。<br/>法や規範の意義や役割を理解す<br/>る。<br/>【思考力、判断力、表現力等】<br/>日本国憲法の基礎にある考え方に<br/>着目し、公共的な空間における基<br/>本的原理との関係を考察する。<br/>日常の買い物や銀行のクレジット<br/>カードなど、身近な契約の例を挙<br/>げられる。<br/>【学びに向かう力、人間性等】<br/>日本国憲法で保障されている権利<br/>を理解し、自らの生き方と権利を<br/>結び付ける。<br/>身近な紛争状況を設定し、それを<br/>理解するためのルール作りを体験<br/>的に行える。</p>   | <p>・第2章 第2節 日本社会の基<br/>本原理<br/>社会権・参政権・請求権～<br/>第3章 ルールをつくり守る私た<br/>ち<br/>～契約と消費者の権利<br/>・教科書<br/>ワークシート<br/>パワーポイント揭示資料</p> <p>・一人1 台端末の活用 等</p>  | <p>【知識・技能】<br/>人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法<br/>の支配、自由・権利と責任・義務など、公共<br/>的な空間における基本的原理について理解<br/>できている。<br/>法や規範の意義や役割を理解できている。<br/>【思考・判断・表現】<br/>日本国憲法の基礎にある考え方に着目し、<br/>公共的な空間における基本的原理との関係<br/>を考察できている。<br/>日常の買い物や銀行のクレジットカードなど<br/>、身近な契約の例を挙げられている。<br/>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>日本国憲法で保障されている権利を理解<br/>し、自らの生き方と権利を結び付けよう<br/>としている。<br/>身近な紛争状況を設定し、それを理解する<br/>ためのルール作りを体験的に行っている。</p>  | ○ | ○ | ○ | 14 |
| 定期      |   |  |  | ○ | ○ |   | 1  |
| 2<br>学期 | <p>C単元<br/>第3章 ルールをつくり守る私た<br/>ち<br/>第2節 司法参加の意義<br/>第4章<br/>政治に参加する私たち</p> <p>【知識及び技能】<br/>公正な裁判には司法権の独立が必<br/>要であり、国民の参加が大切であ<br/>ると理解する。<br/>地方自治や選挙の仕組み、政党の<br/>役割を考察することによって具体<br/>的に民主政治を支える制度を理解<br/>する。<br/>国際法の意義や国際紛争を解決す<br/>る機関の役割を理解する。<br/>国際連盟、国際連合の組織と役割<br/>を理解する。<br/>冷戦の成立とその終結後の国際政<br/>治の流れを理解する。<br/>国際社会の中で平和主義を掲げる<br/>日本の役割を理解する。<br/>核軍拡から核軍縮の流れを理解す<br/>る。<br/>現代の世界の紛争や人権問題につ<br/>いて理解する。<br/>【思考力、判断力、表現力等】<br/>裁判員制度がどのような目的で創<br/>設されたのか考察する。<br/>裁判によって国民のどのような権<br/>利が守られているのか考察する。<br/>選挙制度の違いによって政党制に<br/>も大きな違いが出ると考察する。<br/>自分が理想とする選挙制度を選<br/>択している。<br/>集団的安全保障がなぜ有効なのか<br/>考察する。</p> <p>国連の現状と課題について、考察<br/>する。留学生や国際NGOと接し、<br/>国際化を身近に体験し、国際社会<br/>の諸問題を理解する。<br/>国際問題について自分なりの意見<br/>を持ち、他者に説明する。<br/>【学びに向かう力、人間性等】</p> | <p>・指導事項<br/>第3章 ルールをつくり守る私た<br/>ち<br/>第2節 司法参加の意義<br/>第4章<br/>政治に参加する私たち<br/>第1節；政治参加と民主政治の課<br/>題<br/>第2節；国際政治の動向</p> <p>・教材<br/>教科書<br/>ワークシート<br/>パワーポイント揭示資料</p> <p>・一人1 台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】<br/>公正な裁判には司法権の独立が必要であり<br/>、国民の参加が大切であることが理解で<br/>きている。<br/>地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考<br/>察することによって具体的に民主政治を支<br/>える制度を理解できている。<br/>国際法の意義や国際紛争を解決する機関の<br/>役割を理解できている。<br/>国際連盟・国際連合の組織と役割を理解で<br/>きている。<br/>冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れ<br/>を理解できている。<br/>国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役<br/>割を理解できている。<br/>核軍拡から核軍縮の流れを理解できている。<br/>現代の世界の紛争や人権問題について理解<br/>できている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>裁判員制度がどのような目的で創設された<br/>のか考察出来ている。<br/>裁判によって国民のどのような権利が守ら<br/>れているのか考察できている。<br/>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>模擬裁判などを通して、司法に関心を持<br/>ち、裁判員制度の意義をふまえて積極的に参<br/>画する自覚を持つことができている。<br/>選挙制度の違いによって政党制にも大きな<br/>違いが出ると考察できている。<br/>自分が理想とする選挙制度を選択できている。<br/>集団的安全保障がなぜ有効なのか考察でき<br/>ている。</p> | ○ | ○ | ○ | 14 |

|  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| <p>模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち、裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持つ。</p> <p>模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者として自覚を持つ。</p> <p>日々報道されている世界の国際紛争に関心を持つ。</p>   |   |   |   |   |   |
| <p>定期考査</p>  |   |   | ○ | ○ | 1 |
| <p>第4章 政治に参加する私たち</p> <p>第3節 国際政治の課題と日本の役割</p> <p>第5章 経済活動を行う私たち</p> <p>第1節 経済のしくみと産業の変化</p> <p>第2節：市場経済のしくみと金融</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割を理解する。</p> <p>核軍拡から核軍縮の流れを理解する。</p> <p>現代の世界の紛争や人権問題について理解する。</p> <p>現代の企業の果たしている役割を理解する。</p> <p>中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解する。</p> <p>産業構造の変化と職業選択との関係や雇用・労働問題について理解する。</p> <p>市場メカニズムを理解する。</p> <p>各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解ける。</p> <p>金融の仕組みを理解し、経済状況に応じて、適切な手段を提示する。</p> <p>政府が経済に果たしている役割を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明する。</p> <p>現代の企業倫理について考察する。</p> <p>経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたか考察する。</p> <p>2学期</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示する。</p> <p>民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持つ。</p> <p>留学生や国際NGOと接し、国際化を身近に体感し、国際社会の諸問題について主体的に研究する。</p> <p>AIやITなどの先端技術が発展する中で、自分の進路や職業選択について考察する。</p> <p>経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済の見通しをたてる。</p> <p>商品の価格は、需給関係によって変動すると理解し、合理的な消費行動を取る。</p> <p>日本経済についての課題を発見し、解決する見通しをもつ。</p> <p>格差のある国際社会で、その克服のために自らがどのようなことができるか考え、実行しようという意欲を持てる。</p> | <p>・指導事項</p> <p>第4章 政治に参加する私たち</p> <p>第3節 国際政治の課題と日本の役割</p> <p>第5章 経済活動を行う私たち</p> <p>第1節 経済のしくみと産業の変化</p> <p>第2節：市場経済のしくみと金融</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>ワークシート</p> <p>確認問題</p> <p>パワーポイント提示資料</p> <p>・一人一台端末の活用 等</p> | <p>【知識及び技能】</p> <p>国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割を理解できている。</p> <p>核軍拡から核軍縮の流れを理解できている。</p> <p>現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。</p> <p>市場メカニズムを理解できる。</p> <p>各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解くことができる。</p> <p>金融の仕組みを理解し、経済状況に応じて、適切な手段を提示できる。</p> <p>政府が経済に果たしている役割を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明できている。</p> <p>需給曲線を使って、どのような場面に価格が変動するか考察できる。</p> <p>GDPが大きいと豊かさにつながるのか、自分なりに判断できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>それぞれの紛争の解決への筋道は何か提示できている。</p> <p>民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持っている。</p> <p>留学生や国際NGOと接し、国際化を身近に体感し、国際社会の諸問題について主体的に研究できている。</p> <p>商品の価格は、需給関係によって変動すると理解し、合理的な消費行動を取る姿勢がみられる。</p> <p>日本経済についての課題を発見し、解決する見通しを持つとしている。</p> | ○ | ○ | ○ |
| <p>定期考査</p>  |   |   | ○ | ○ | 1 |

|             |  |  |  |   |   |   |    |
|-------------|--|--|--|---|---|---|----|
| 3<br>学<br>期 | <p>第5章<br/>経済活動を行う私たち<br/>第3節 財政と社会保障<br/>課題探究編<br/>持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】<br/>社会保障について理解する。<br/>貿易や外国為替相場について理解する。<br/>発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの原因や課題を理解する。<br/>現代社会に生きる私たちの課題を指摘している。<br/>現代社会の諸問題について、探求するための資料を収集・選択し、的確に分析する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>自身の老後生活を予想し、租税と社会保障のバランスを考察する。<br/>経済のグローバル化と相互依存の関係により、日本経済にどのような影響を及ぼすか考察する。<br/>現代社会の諸問題の解決のため、事実を基に協働して考え、意見を出し合う。<br/>現代社会の諸問題を多角的・多面的に考察し、その内容をレポートや口頭発表などによって的確に表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>格差のある国際社会で、その克服のために自らがどのようなことができるか考え、実行しようという意欲を持てる。<br/>さまざまな課題の中で、自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し、探求している。<br/>現代社会の特質から生じる価値の対立について、討論やディベートなど、さまざまな方法を活用して主体的に探究する。</p> | <p>・指導事項<br/>第5章<br/>経済活動を行う私たち<br/>第3節 財政と社会保障<br/>課題探究編<br/>持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>・教材<br/>教科書<br/>ワークシート<br/>確認問題<br/>パワーポイント提示資料</p> <p>・一人一台端末の活用 等</p> | <p>【知識及び技能】<br/>社会保障について理解できる。<br/>貿易や外国為替相場について理解できる。<br/>発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの原因や課題を理解できる。<br/>現代社会に生きる私たちの課題を指摘できる。<br/>現代社会の諸問題について、探求するための資料を収集・選択し、的確に分析できる。<br/>【思考力、判断力、表現力等】<br/>自身の老後生活を予想し、租税と社会保障のバランスを考察できる。<br/>経済のグローバル化と相互依存の関係により、日本経済にどのような影響を及ぼすか考察できる。<br/>現代社会の諸問題の解決のため、事実を基に協働して考え、意見を出し合うことができる。<br/>現代社会の諸問題を多角的・多面的に考察し、その内容をレポートや口頭発表などによって的確に表現できる。<br/>【学びに向かう力、人間性等】<br/>格差のある国際社会で、その克服のために自らがどのようなことができるか考え、実行しようという意欲を持てることができる。<br/>さまざまな課題の中で、自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し、探求できている。<br/>現代社会の特質から生じる価値の対立について、討論やディベートなど、さまざまな方法を活用して主体的に探究できている。</p> | ○ | ○ | ○ | 10 |
|             | 定期考査   |  |  | ○ | ○ |   | 1  |
|             |  |  |  |   |   |   | 合計 |

高等学校 令和6年度 (1学年用)

教科 地理歴史 科目 地理総合

教科: 地理歴史

科目: 地理総合

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 AB 組

教科担当者: (A組: 谷口修太・坂場俊太 (B組: 谷口修太・坂場俊太 ( 組: ) ( 組: ) ( 組: ) ( 組: )

使用教科書: ( 『高等学校 新地理総合』 帝国書院 )

教科 地理歴史

の目標:

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合

の目標:

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|--|---|
| 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 | 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。 |

| 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|--|--|---|---|---|---|----------|
| <p>A 単元</p> <p>第1部 地図でとらえる現代社会</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。</li> <li>現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</li> <li>現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</li> </ul> | <p>・指導事項</p> <p>第1部 地図でとらえる現代社会</p> <p>第1章 地図と地理情報システム</p> <p>1節 地球上の位置と時差</p> <p>2節 地図の役割と種類</p> <p>第2章 結び付きを深める現代世界</p> <p>1節 現代世界の国家と領域</p> <p>2節 グローバル化する世界</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>ワークシート</p> <p>パワーポイント揭示資料</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。</li> <li>現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。</li> <li>現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 12       |
| 定期考査   |  |   | ○ | ○ |   | 1        |
| <p>B 単元</p> <p>第2部 国際理解と国際協力</p> <p>第1章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</li> <li>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>   | <p>・指導事項</p> <p>第2部 国際理解と国際協力</p> <p>第1章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>序説 生活文化と多様性</p> <p>1節 世界の地形と人々の生活</p> <p>2節 世界の気候と人々の生活</p> <p>3節 世界の言語・宗教と人々の生活</p> <p>・教材</p> <p>教科書</p> <p>ワークシート</p> <p>パワーポイント揭示資料</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>                  | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>  | ○ | ○ | ○ | 12       |

|  |  |  |   |   |  |   |
|--|--|--|---|---|--|---|
| <p>的・多角的に考察し、表現する。<br/> <b>【学びに向かう力、人間性等】</b><br/>         ・生活文化の多様性と国際理解について、<br/>         よりよい社会の実現を視野にそこで見られる<br/>         課題を主体的に追究、解決しようとする<br/>         態度を養う。</p> |  |  |   |   |  |   |
| 定期考査   |  |  | ○ | ○ |  | 1 |

|     |   |  |   |   |   |   |    |
|-----|---|--|---|---|---|---|----|
|     | <p>C単元<br/>第2部 国際理解と国際協力<br/>第1章 生活文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識及び技能】<br/>・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>  | <p>・指導事項<br/>第2部 国際理解と国際協力<br/>第1章 生活文化の多様性と国際理解<br/>4節 歴史的背景と人々の生活<br/>5節 世界の産業と人々の生活</p> <p>・教材<br/>教科書<br/>ワークシート<br/>パワーポイント揭示資料<br/>・一人1台端末の活用 等</p>  | <p>【知識・技能】<br/>・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>   | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 2学期 | <p>定期考査</p>   |  |   | ○ | ○ |   | 1  |
|     | <p>D単元<br/>第2部 国際理解と国際協力<br/>第2章 地球課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】<br/>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p> | <p>・指導事項<br/>第2部 国際理解と国際協力<br/>第2章 地球課題と国際協力<br/>1節 複雑に絡み合う地球的課題<br/>2節 地球環境問題<br/>3節 資源・エネルギー問題<br/>4節 人口問題<br/>5節 食糧問題<br/>6節 都市・居住問題</p> <p>・教材<br/>教科書<br/>ワークシート<br/>パワーポイント揭示資料<br/>・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】<br/>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>・地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 12 |
|     | <p>定期考査</p>   |  |   | ○ | ○ |   | 1  |

|             |   |  |   |   |   |   |          |
|-------------|---|--|---|---|---|---|----------|
| 3<br>学<br>期 | <p>E単元<br/>第3部 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付ける。</li> <li>生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察し、構想し、表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</li> <li>生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</li> </ul> | <p>・指導事項<br/>第3部 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>第1章 自然環境と防災</p> <p>1節 日本の自然環境<br/>2節 地震・津波と防災<br/>3節 火山災害と防災<br/>4節 気象災害と防災<br/>5節 自然災害への備え</p> <p>第2章 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>1節 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>・教材<br/>教科書<br/>ワークシート<br/>パワーポイント掲示資料<br/>・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付けている。</li> <li>生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> <li>生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 16       |
|             | 定期考査  |  |   | ○ | ○ |   | 1        |
|             |   |  |   |   |   |   | 合計<br>70 |

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～B組

教科担当者：天野・中田

使用教科書：（新高等保健体育（大修館））

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|--|---|
| 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 | 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。 |

|             | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|-------------|--|---|---|---|---|---|----------|
| 1<br>学<br>期 | A 体づくり運動<br>【知識及び技能】<br>・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解できるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てる力を養う。<br>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。   | ・指導事項<br>体ほぐしの運動<br>補強運動<br>新体力テスト<br><br>・教材<br>教科書、プリント、各用具<br><br>・一人1台端末の活用等                | A 体づくり運動<br>【知識及び技能】<br>・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。<br>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。                             | ○ | ○ | ○ | 6        |
|             | C 陸上競技<br>【知識及び技能】<br>・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や朝顔を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。 | ・指導事項<br>男子：ハードル走、ジャベリックスロー<br>女子：ハードル走、ジャベリックスロー<br><br>・教材<br>教科書、プリント、各用具<br><br>・一人1台端末の活用等 | 【知識及び技能】<br>・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や朝顔を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。 | ○ | ○ | ○ | 7        |

|  |   |  |  |   |   |   |   |
|--|---|--|--|---|---|---|---|
| 1<br>学<br>期  | E 球技<br>【知識及び技能】<br>・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する力を養う。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える力を養う。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。               | ・指導事項<br>男子：バドミントン<br>女子：バドミントン<br><br>・教材<br>教科書、プリント、各用具<br><br>・一人1台端末の活用等  | 【知識及び技能】<br>・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。               | ○ | ○ | ○ | 7 |
|  | B 器械運動<br>【知識及び技能】<br>・技がよりよくできたり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解するとともに、自己に適した技で演技する力を養う。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を譲えようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。  | ・指導事項<br>柔道<br><br>・教材<br>教科書、プリント、各用具<br><br>・一人1台端末の活用等  | 【知識及び技能】<br>・技がよりよくできたり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができる。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を譲えようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。  | ○ | ○ | ○ | 7 |
|  | D 水泳<br>【知識及び技能】<br>・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐ力を養う。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとする態度を養う。 | ・指導事項<br>クロール、平泳ぎ<br><br>・教材<br>教科書、プリント、各用具<br><br>・一人1台端末の活用等  | 【知識及び技能】<br>・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| H 体育理論<br>【知識及び技能】<br>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できるようにする。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組む態度を養う。 | ・指導事項<br>スポーツの発祥と発展<br><br>・教材<br>教科書、プリント<br><br>・一人1台端末の活用等   | H 体育理論<br>【知識及び技能】<br>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できる。<br><br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。<br><br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。 | ○  | ○ | ○ | 2 |   |

|             |  |  |  |   |   |   |   |    |
|-------------|--|--|--|---|---|---|---|----|
| 2<br>学<br>期 | D 水泳   | <p>・指導事項<br/>クロール、平泳ぎ</p> <p>・教材<br/>教科書、プリント、各<br/>用具</p> <p>・一人1台端末の活用<br/>等</p>   | <p>【知識及び技能】</p> <p>・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐ力を養う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとする態度を養う。</p> | <p>【知識及び技能】</p> <p>・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。</p> | ○ | ○ | ○ | 10 |
|             | E 球技   | <p>・指導事項<br/>男子：バスケットボール、ソフトボール<br/>女子：バスケットボール、卓球</p> <p>・教材<br/>教科書、プリント、各<br/>用具</p> <p>・一人1台端末の活用<br/>等</p>  | <p>【知識及び技能】</p> <p>・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する力を養う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。</p>               | <p>【知識及び技能】</p> <p>・勝敗を競ったりチームや事故の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p>               | ○ | ○ | ○ | 20 |
|             | F 武道   | <p>・指導事項<br/>柔道</p> <p>・教材<br/>教科書、プリント、各<br/>用具</p> <p>・一人1台端末の活用<br/>等</p>   | <p>【知識及び技能】</p> <p>・勝敗を競ったり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方や、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解するとともに、得意技などを生かした攻防を展開する力を養う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。</p>        | <p>【知識及び技能】</p> <p>・勝敗を競ったり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方や、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解するとともに、得意技などを生かした攻防を展開することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>        | ○ | ○ | ○ | 10 |
| C 陸上競技      | <p>・指導事項<br/>長距離走</p> <p>・教材<br/>教科書、プリント、各<br/>用具</p> <p>・一人1台端末の活用<br/>等</p> | <p>【知識及び技能】</p> <p>・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や朝顔を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとする態度を養う。</p> | <p>【知識及び技能】</p> <p>・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や朝顔を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>                         | ○   | ○ | ○ | 6 |    |





高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～ B組

教科担当者：田中

使用教科書：（新高等保健体育（大修館））

- 教科 保健体育 の目標：
- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康について自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

| 【知識及び技能】                                       | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|--|--|--|
| 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 | 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 | 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|---|---|---|---|---|---|----------|
| <p>1<br/>学<br/>期</p> <p>一単元 現代社会と健康<br/>【知識及び技能】<br/>・現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、現代社会と健康について理解を深めさせる。<br/>【思考力、判断力、表現力等】<br/>・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する力を育む。<br/>【学びに向かう力、人間性等】<br/>・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p> | <p>・指導事項<br/>日本における健康課題の変遷<br/>健康の考え方や成り立ち<br/>ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり<br/>健康に関する意思決定・行動選択<br/>生活習慣病の予防と回復<br/>身体活動・運動と健康<br/>食事と健康<br/>休養・睡眠と健康</p> <p>・教材<br/>教科書、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> | <p>【知識及び技能】<br/>・現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、現代社会と健康について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。</p>                 | ○ | ○ | ○ | 12       |
| 定期考査  |   |   | ○ | ○ |   | 1        |
| <p>2<br/>学<br/>期</p> <p>一単元 現代社会と健康<br/>【知識及び技能】<br/>・現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、現代社会と健康について理解を深めさせる。<br/>【思考力、判断力、表現力等】<br/>・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する力を育む。<br/>【学びに向かう力、人間性等】<br/>・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p> | <p>・指導事項<br/>現代における感染症の問題<br/>感染症の予防<br/>性感染症・エイズとその予防<br/>がんの予防と回復<br/>喫煙と健康<br/>飲酒と健康<br/>薬物乱用と健康<br/>精神疾患の特徴<br/>精神疾患への対応</p> <p>・教材<br/>教科書、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>                    | <p>一単元 現代社会と健康<br/>【知識及び技能】<br/>・現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、現代社会と健康について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。</p> | ○ | ○ | ○ | 13       |
| 定期考査  |   |   | ○ | ○ |   | 1        |

|             |  |   |  |   |   |   |    |
|-------------|--|---|--|---|---|---|----|
| 3<br>学<br>期 | <p>二単元 安全な社会生活</p> <p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、安全な社会生活について理解を深めさせるとともに、応急手当を適切にする力を養う。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現する力を育む。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</li> </ul> | <p><b>・指導事項</b></p> <p>事故の現状と発生要因<br/>交通事故防止の取り組み<br/>安全な社会の形成<br/>応急手当の意義と救急医療体制<br/>心肺蘇生法<br/>日常的な応急手当</p> <p><b>・教材</b></p> <p>教科書、プリント</p> <p><b>・一人1台端末の活用</b> 等</p> | <p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、安全な社会生活について理解するとともに、応急手当を適切にすることができる。</li> </ul> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。</li> </ul> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 7  |
|             | 定期考査   |   |  | ○ | ○ |   | 1  |
|             |  |   |  |   |   |   | 合計 |

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 1 学年 A 組～ B 組  
 教科担当者：（A組α：白鳥） （A組β：白鳥） （B組α：白鳥） （B組β：白鳥） （組： ） （組： ）  
 使用教科書：（教育出版 Tutti+ ）

- 教科 芸術 の目標：
- 【知識及び技能】
    - ・芸術的構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び芸術の多様性などについて理解を深めている。
    - ・創意工夫などを生かした表現をするために必要な技能を身に付け、表現している。
  - 【思考力、判断力、表現力等】
    - ・芸術を作り上げる要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、芸術を評価しながらよさや美しさを味わっている。
  - 【学びに向かう力、人間性等】
    - ・芸術と豊かに関わり主体的、協働的に表現し学習活動に取り組もうとしている。

科目 音楽 I の目標：

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】                                   |
|---|--|--|
| ・曲想や音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。<br>・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。 | ・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 | ・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |

| 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容                                     | 表現 |   |   | 鑑賞  | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |
|---|---|----|---|---|---|------|---|---|---|------------------|
|   |   | 歌  | 器 | 創 |   |      |   |   |   |                  |
| 『都立大島海洋国際高校の校歌を知ろう』<br>【知識及び技能】<br>・歌詞の内容を理解するとともに、都立大島海洋国際高校の校歌を歌えるようにする。<br>・音楽を形作る構成要素を適切に用いて歌唱できるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・歌唱する際に、既に学習した曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方に関連付けて、多面的に捉えたり目的に応じて適切に対応したりする力を養う。<br>・音楽を形作る構成要素や音楽表現を伊豆大島の伝統と特徴に紐づけて考察することができるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・音楽表現の考えを用いて考察するよさを認識し、それらを活用しようとしたり、粘り強く考え音楽的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。<br>・学習活動を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。 | ・教科書<br>・校歌譜面                               | ○  | ○ | ○ | 【知識・技能】<br>・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、伊豆大島の伝統と特徴について理解している。<br>・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。<br>【思考・判断・表現】<br>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現について考えて聴き、どのように歌唱するかについて表現意図をもっている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・音楽から多様性を捉えること、音楽表現を考えることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 | ○    | ○ | ○ | 8 |                  |
| 実技テスト   | ・一人ずつ、歌唱の技量と歌詞の把握度合いを確かめる。待機中は楽典の確認プリントを行う。 | ○  |   |   |   | ○    | ○ | ○ | 1 |                  |
| 『楽典～音楽の構成要素～』<br>【知識及び技能】<br>・楽典に関する基本的な概念を理解できるようにする。<br>・音楽を形作る構成要素を適切に用いて創作で表すことができるようにする。   | ・教科書  |    |   |   | 【知識・技能】<br>・音の連なりや重なりによる響き、音階や音型などの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。<br>・反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表している。<br>【思考・判断・表現】   |      |   |   |   |                  |

|  |                |   |              |           |
|--|----------------|---|--------------|-----------|
| <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成要素との関わり合いの考えを用いて音楽をどう作るかについて考察し、多面的に捉えたり目的に応じて適切に対応したりする力を養う。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成要素との関わり合いの考えを用いて考察するよさを認識し、それらを活用しようとして、粘り強く考え音楽的論拠に基づき判断しようとする創造性の基礎を養う。</li> <li>・学習活動を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。</li> </ul> | <p>○ ○ ○ ○</p> | <p>【心づき・仲間・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形式や構成を工夫しながら創作することに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> | <p>○ ○ ○</p> | <p>12</p> |
| <p>定期考査</p>  | <p></p>        | <p></p>   | <p>○ ○</p>   | <p>1</p>  |

|  |   |  |  |  |  |   |   |   |    |
|--|---|--|--|--|--|---|---|---|----|
| <p>『ギターを弾こう』</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブラチュア譜を理解するとともに、与えられた課題を適切に弾けるようにする。</li> <li>・音楽を形作る構成要素を適切に用いて演奏できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏する際に、既に学習した曲に正しい弾き方を関連付けて、多面的に捉えたり目的に応じて適切に対応したりする力を養う。</li> <li>・音楽を形作る構成要素や音楽表現を楽器の持つ独特な特徴とその音色について考察することができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽表現の考えを用いて考察するよさを認識し、それらを活用しようとしたり、粘り強く考え音楽的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。</li> <li>・学習活動を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・課題(譜面)</li> </ul> |  |  |  | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギターの奏法を身に付けることや音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をするのに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>   | ○ | ○ | ○ | 12 |
| <p>『日本伝統音楽、日本伝統楽器に触れよう』</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統音楽、楽器を理解するとともに、適切に演奏できるようにする。</li> <li>・日本伝統音楽が作られた歴史的背景を音楽構造と照らし合わせ、音楽の進化とその種類についてを考え、自らの意見を持つことができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏する際に、既に学習した曲に正しい使い方を関連付けて、多面的に捉えたり目的に応じて適切に対応したりする力を養う。</li> <li>・音楽を形作る構成要素や音楽表現を楽器の持つ独特な特徴とその音色について考察することができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽表現の考えを用いて考察するよさを認識し、それらを活用しようとしたり、粘り強く考え音楽的論拠に基づき判断しようとしたりする態度を養う。</li> <li>・学習活動を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・プリント</li> </ul>   |  |  |  | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と楽器の音色や奏法との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。</li> <li>・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考えて聴き、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の楽器の奏法を学び、音色や奏法の特徴を感じ取ること、諸民族の楽器と日本の楽器との比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考えるのに関心をもち、主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 13 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----|
|  | <p>実技テスト</p> <p>・一人ずつ、器楽の技量と音楽の構成要素の把握度合いを確かめる。待機中は楽典の確認プリントを行う。</p> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |    |
| <p>『音楽史〜クラシックとポップス〜』</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽が作られた時代や作曲者の違いに関する基本的な概念を理解できるようにする。</li> <li>音楽が作られた歴史的背景を音楽構造と照らし合わせ、音楽の進化とその種類についてを考え、自らの意見を持つことができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構成要素との関わり合いの考えを用いて音楽をどう作るかについて考察し、多面的に捉えたり目的に応じて適切に対応したりする力を養う。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構成要素との関わり合いの考えを用いて考察するよさを認識し、それらを活用しようとして、粘り強く考え音楽的論拠に基づき判断しようとする創造性の基礎を養う。</li> <li>学習活動を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。</li> </ul>                | <p>・教科書</p>  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 10 |
| <p>定期考査</p>  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 1  |
| <p>3<br/>学<br/>期</p> <p>『アンサンブル〜みんなとTutti〜』</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な音や音楽、音楽文化に触れ、そのよさや美しさを味わいながら演奏できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>演奏する際に、今までに学習した「知識」に関連付けて、多面的に捉えたり目的に応じて適切に対応したりする力を養う。</li> <li>音楽を形作る構成要素や音楽表現をその特徴に紐づけて考察することができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽表現の考えを用いて考察するよさを認識し、それらを活用しようとして、粘り強く考え音楽的論拠に基づき判断しようとして、粘り強く考え音楽的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。</li> <li>学習活動を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりする態度を養う。</li> </ul> | <p>・教科書</p> <p>・個別課題(譜面)</p>   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 12 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 合  |



高等学校令和6年度（1学年用）教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組 ～ B 組

教科担当者：（A組 α：浅沼翔太）（A組 β：浅沼翔太）（B組 α：浅沼翔太）（B組 β：浅沼翔太）

使用教科書：（「新編 情報 I」（東京書籍））

使用教材：（「新編 情報 I 資料ノート」（東京書籍））

教科 情報 の目標：

- 【知識及び技能】 ・情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人の関わりについての理解を深めるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】                           |
|--|---|--|
| ・効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人の関わりについて理解を深めるようにする。 | ・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 | ・情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。 |

|             | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 評価規準   | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |
|-------------|---|--|--|---|---|---|----------|
|             |   |  |  |   |   |   |          |
| 1<br>学<br>期 | 1 章 情報で問題を解決する<br>【知識及び技能】<br>情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けるとともに、情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解し、情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えとともに、情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察し、情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善するとともに、望ましい情報社会の構築に寄与しようとしている。 | 1 情報とメディアの特性<br>2 問題解決の流れ<br>3 発想法<br>4 情報モラル<br>5 個人情報の流出<br>6 傷つかない傷つけないために<br>7 著作権<br>8 情報技術の発展<br>9 情報化と私たちの生活の変化<br>10 よりよい情報社会へ<br>(章末資料)<br>①産業財産権<br>②著作権の例外規定<br>③クリエイティブ・コモンズ<br>④インターネットと選挙<br>⑤ I o T でつながる世界<br>⑥ ディープラーニング(深層学習)                                    | 【知識・技能】<br>・情報やメディアの特性を理解し、情報をデジタル化して扱う利点と欠点について理解することができる。<br>・個人情報が特定される仕組みについて具体的に理解することができる。<br>【思考・判断・表現】<br>・伝える情報に対して適切な表現メディアを判断し、表現することができる。<br>・自分の個人情報をどこまでインターネット上に公開できるか考え、グループやクラスで合意形成できる案について考えることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・身近な問題について、問題解決のプロセスを当てはめて、情報技術をどのように活用したらよいかについて考えようとしている。<br>・特定される仕組みなど、具体的に情報の科学的な理解をすることで、個人情報を適切に扱おうとしている。                                   | ○ | ○ | ○ | 10       |
|             | 中間考査  |  |  | ○ | ○ |   | 1        |
|             | 2 章 情報を伝える<br>【知識及び技能】<br>目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える活動を通じ、情報の科学的な見方・考え方を働かせて、メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴について科学的に理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を身に付け、コンテンツを表現し、評価し改善する。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとする態度、情報社会に主体的に参画する態度を養う。   | 11 コミュニケーション手段の変化<br>12 ネットコミュニケーションの特徴<br>13 デジタルの世界へ<br>14 数値と文字のデジタル表現<br>15 音と画像のデジタル表現<br>16 色と動画のデジタル表現<br>17 目的に応じたデジタル化<br>18 情報デザイン<br>19 ユニバーサルデザイン<br>20 情報デザインの流れ<br>(章末資料)<br>①アラブの春<br>②クラウドファンディング<br>③集団による情報の創造<br>④QRコード<br>⑤データ量の計算<br>⑥文字コードは世界をつなぐ<br>⑦ペルソナ手法 | 【知識・技能】<br>・デジタルとアナログの違いについて科学的な根拠に基づいて理解している。<br>・音と画像と動画のデジタル化の方法について科学的に深く理解している。<br>・情報デザインの方法について理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>・情報をデジタル化して扱っている具体的な場面を例として取り上げて、その場面について考えている。<br>・色や光の三原色を調整して、コンピュータで色を表現し、その方法を科学的に考えることができる。<br>・情報を可視化して表現することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・コンピュータで数値や文字をデジタル化する方法について興味を持とうとしている。<br>・標準化の精度と量子化のレベルについて科学的に深く興味を持とうとしている。<br>・学校のWebサイトの階層構造について調べようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 15       |
| 期末考査        |   |  | ○  | ○ |   | 1 |          |



高等学校 令和6年度

教科

水産

科目 水産海洋基礎

教科：水産

科目：水産海洋基礎

単位数：4 単位

対象学年組：第1学年 A組～B組

教科担当者：片桐、網谷、佐藤、小原、橋本、遠藤、佐々木、伊藤、鈴木、浜野、西山、白鳥

使用教科書：(水産海洋基礎(海文堂))

使用教材：( )

教科 水産

の目標：

- 【知識及び技術】 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 水産や海洋に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 水産海洋基礎

の目標：

| 【知識及び技術】   | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|--|---|--|
| 水産業や海洋関連産業の国民生活における社会的意義や役割などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 | 水産業や海洋関連産業全体を広い視野で捉え課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 | 持続可能な水産業や海洋関連産業の構築を目指して自ら学び、地域の振興や社会貢献に主体的かつ合理的に取り組む態度を養う。 |

|             | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容  | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配当<br>時数 |    |
|-------------|--|--|---|---|---|---|----------|----|
|             |  |  |   |   |   |   |          |    |
| 1<br>学<br>期 | 基礎実習<br>【知識及び技術】<br>水産業や海洋関連産業に必要な、基礎的な技術を習得すること。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>海上での安全確保のための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>海上を中心とする集団行動を通して自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。 | ・指導事項<br>基本教練<br><br>・教材<br>教科書、実習ファイル<br><br>・一人1台端末の活用 等                           | 【知識・技能】<br>水産業や海洋関連産業に必要な、基礎的な技術を習得している。<br>【思考・判断・表現】<br>海上での安全確保のための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>海上を中心とする集団行動を通して自ら学び主体的かつ協働的に取り組んでいる。 |   | ○ | ○ | 12       |    |
|             |  | ・指導事項<br>海洋実習(カッター)<br>結索<br><br>・教材<br>教科書、実習ファイル、端艇<br><br>・一人1台端末の活用 等            |   |   | ○ | ○ | 8        |    |
|             | 定期考査   |  |   | ○ | ○ |   | 1        |    |
|             | 基礎実習<br>【知識及び技術】<br>水産業や海洋関連産業に必要な、基礎的な技術を習得すること。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>海上での安全確保のための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>海上を中心とする集団行動を通して自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。 | ・指導事項<br>海洋実習(スキューバダイビング)<br><br>・教材<br>教科書、実習ファイル、潜水機材<br><br>・一人1台端末の活用 等          | 【知識・技能】<br>水産業や海洋関連産業に必要な、基礎的な技術を習得している。<br>【思考・判断・表現】<br>海上での安全確保のための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>海上を中心とする集団行動を通して自ら学び主体的かつ協働的に取り組んでいる。 |   |   | ○ | ○        | 15 |
| 定期考査        |  |  |   | ○ | ○ |   | 1        |    |
|             | 基礎実習<br>1学期のものと同じ  | ・指導事項<br>海洋実習(スキューバダイビング)<br><br>・教材<br>教科書、実習ファイル、潜水機材、実習船「大島丸」<br><br>・一人1台端末の活用 等 | 1学期のものと同じ   |   |   | ○ | ○        | 15 |

|             |   |   |   |   |   |   |    |
|-------------|---|---|---|---|---|---|----|
| 2<br>学<br>期 | 基礎実習<br>1学期のものと同じ   | ・指導事項<br>乗船実習<br><br>・教材<br>教科書、実習ファイル、実習船大島丸   | 1学期のものと同じ   |   | ○ | ○ | 35 |
|             |   |   |   |   |   |   |    |
|             | 海のあらし<br>【知識及び技術】<br>海と人間生活の関わりについて基礎的な内容を理解すること。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>海と人間生活の関わりにおける課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>海と人間生活の関わりについて自ら学び、主体的かつ創造的に取り組むこと。 | ・指導事項<br>ア.日本の海、世界の海<br>イ.海と食生活・文化・社会<br>ウ.海と環境<br>エ.海と生物<br><br>・教材<br>教科書<br><br>・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】<br>海と人間生活の関わりについて基礎的な内容を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>海と人間生活の関わりにおける課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>海と人間生活の関わりについて自ら学び、主体的かつ創造的に取り組んでいる。 | ○ | ○ | ○ | 25 |
| 定期考査        |   |   | ○   | ○ |   | 1 |    |

|             |  |  |   |   |   |     |    |
|-------------|--|--|---|---|---|-----|----|
| 3<br>学<br>期 | <p>水産業と海洋関連産業のあらまし</p> <p>【知識及び技術】<br/>我が国や地域の水産業と海洋関連産業の概要、意義及び役割を、必要な知識や技術などの学習内容と関連付けて理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】<br/>我が国や地域の水産業及び海洋関連産業における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】<br/>海、水産物及び船を活用した持続可能で発展的な水産業や海洋関連産業を実現するために、探求学習などを通し自ら学び、様々な課題解決に主体的かつ協働的に取り組むこと。</p> | <p>・指導事項<br/>ア. 船と暮らし<br/>イ. とる漁業・つくり育てる漁業と資源管理<br/>ウ. 水産物の加工と流通<br/>エ. 我が国の水産業と海洋関連産業</p> <p>・教材<br/>教科書</p> <p>・一人1 台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】<br/>我が国や地域の水産業と海洋関連産業の概要、意義及び役割を、必要な知識や技術などの学習内容と関連付けて理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>我が国や地域の水産業及び海洋関連産業における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決すること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】<br/>海、水産物及び船を活用した持続可能で発展的な水産業や海洋関連産業を実現するために、探求学習などを通し自ら学び、様々な課題解決に主体的かつ協働的に取り組むこと。</p> | ○ | ○ | ○   | 15 |
|             | <p>基礎実習<br/>1学期のものと同じ</p>  | <p>・指導事項<br/>水産・海洋生物の採集<br/>水産・海洋生物の飼育<br/>食品加工</p> <p>・教材<br/>教科書、実習ファイル、魚体、飼育道具</p>  | 1学期のものと同じ   |   | ○ | ○   | 11 |
|             | <p>定期考査</p>  |  |   | ○ | ○ |     | 1  |
|             |  |  |   |   |   |     | 合計 |
|             |  |  |   |   |   | 140 |    |

